

「ハチミツを与えるのは 1 歳を過ぎてから」

■ 赤ちゃんのお母さん・お父さんやお世話をする方へ

- 1 1 歳未満の赤ちゃんがハチミツを食べることによって乳児ボツリヌス症にかかることがあります。
- 2 ハチミツは 1 歳未満の赤ちゃんにリスクが高い食品です。
- 3 ボツリヌス菌は熱に強いので、通常の加熱や調理では死にません。1 歳未満の赤ちゃんにハチミツやハチミツ入りの飲料・お菓子などの食品は与えないようにしましょう。

■ 食品事業者の方へ

ハチミツおよびハチミツを含む食品は「1 歳未満の乳児には与えないで下さい。」という情報を、表示などにより消費者に分かりやすく提供するようにお願いします。

詳しい情報

赤ちゃんのお母さん・お父さんやお世話をする人へ

- 1 1 歳未満の赤ちゃんがハチミツを食べることによって乳児ボツリヌス症にかかることがあります。

〔乳児ボツリヌス症の発生状況〕

乳児ボツリヌス症は、国内では、保健所が食中毒として報告した事例は 1986 年以降 3 例、医師が乳児ボツリヌス症として報告した事例は 1999 年以

降 16 例あります。また、欧米でも発生しており、米国では毎年 100 例以上の発生報告があります。

乳児ボツリヌス症の発生原因は、食品としてハチミツが指摘されていますが、ハチミツを食べていない例（国内では井戸水）も報告されています。

2 ハチミツは1歳未満の赤ちゃんにリスクが高い食品です。

ボツリヌス菌は、土壌中などに広く存在している細菌です。ボツリヌス菌が食品などを介して口から体内にはいると、大人の腸内では、ボツリヌス菌が他の腸内細菌との競争に負けてしまうため、通常、何も起こりません。

一方、赤ちゃんの場合、まだ腸内環境が整っておらず、ボツリヌス菌が腸内で増えて毒素を出すため、便秘、ほ乳力の低下、元気の消失、泣き声の変化、首のすわりが悪くなる、といった症状を引き起こすことがあります。ほとんどの場合、適切な治療により治癒しますが、まれに亡くなることもあります。

なお、1歳以上の方にとっては、ハチミツはリスクの高い食品ではありません。

3 ボツリヌス菌は熱に強いので、通常の加熱や調理では死にません。1歳未満の赤ちゃんにハチミツやハチミツ入りの飲料・お菓子などの食品は与えないようにしましょう。

一般的に、ハチミツは包装前に加熱処理を行わないため、ボツリヌス菌が混入していることがあります。また、ボツリヌス菌（芽胞）の耐熱性は 120℃、4 分とされており、通常の加熱や調理では死にません。

食品事業者の方へ

ハチミツおよびハチミツを含む食品は「1歳未満の乳児には与えないで下さい。」という情報を、表示などにより消費者に分かりやすく提供するようにお願いします。